

重 要

介護保険住宅改修及び高齢者住宅改造に係る重要事項

1. 住宅改修中に被保険者が死亡した場合（在宅中）

住宅改修中に被保険者本人が死亡した場合は、完成した部分までが支給対象となります。
※変更申請書の提出が必要となります。

2. 住宅改修工事が終了する前に、被保険者が死亡した場合（在宅中）

申請者（被保険者）が工事を発注後、着工直前に死亡し施工業者が発注した材料等について申請者に請求があった場合、一般的には、材料費・工賃等は、死亡時点までの完成部分にかかる当該費用相当額のみが対象となりますので、この場合は支給対象とはなりません。

3. 在宅要介護者が工事着工後に入院した場合（入院・入所中）

入院（入所）中の要介護者が退院する際は前もって工事を着工することは可能（申請日は退院日以降）ですが、着工後に在宅の要介護者が容態の急変等により入院し、退院の見通しがつかない場合は、要介護者が入院するまでに工事が完成した部分までが支給対象となります。

※変更申請書の提出が必要となります。

4. 住宅改修の工事中に非該当認定となった場合（在宅中）

着工日時点では要介護（支援）認定されていたが、その後更新申請をし「非該当」と認定され、住宅改修の工事完了時点では「非該当」である場合、要介護認定の有効期限日までに工事が完了した部分の工事費用（日数按分等による算出）が支給対象となります。

※変更申請書の提出が必要となります。